



## 2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月11日

上場会社名 久光製薬株式会社 上場取引所 東・名・福  
コード番号 4530 URL <https://www.hisamitsu.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中富 一榮  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企業戦略室長 (氏名) 磯部 雄一 (TEL) 03-5293-1704  
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	102,827	11.9	12,270	44.2	16,661	28.1	12,110	27.2
2023年2月期第3四半期	91,881	6.0	8,506	22.0	13,003	50.1	9,522	53.1

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 27,871百万円(△8.6%) 2023年2月期第3四半期 30,499百万円(226.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	156.64	156.48
2023年2月期第3四半期	119.46	119.36

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	334,909	271,496	80.3
2023年2月期	313,917	258,408	81.6

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 268,773百万円 2023年2月期 256,105百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	42.25	—	42.25	84.50
2024年2月期	—	42.50	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,000	9.9	14,400	24.1	19,900	24.0	14,600	24.3	188.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年2月期3Q	85,164,895株	2023年2月期	85,164,895株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	9,055,141株	2023年2月期	7,420,560株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年2月期3Q	77,310,355株	2023年2月期3Q	79,715,046株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予想には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性があります。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性もあります。
- ・当社は、2024年1月11日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、医薬品などの創製・育薬・製造・販売を通じて「世界の人々のQOL（クオリティ・オブ・ライフ：生活の質）向上を目指す」を経営理念と定めています。多様化するお客様のニーズに応えるべく、『「手当て」の文化を、世界へ。』という企業使命のもと、当社が培ってきた貼付剤技術をベースに事業活動を積極的に展開してまいります。また、今後も、地球にやさしい「エコ&コンパクト」パッケージの実現等をはじめとする、ESG（環境・社会・ガバナンス）及びSDGs（持続可能な開発目標）を推進する活動を行うことで、持続可能な社会の構築に貢献し、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下の通りです。

#### <売上高>

売上高は、1,028億2千7百万円(前年同四半期比11.9%増)となりました。

国内市場において、医療用医薬品事業は、2023年4月の薬価改定や継続的な後発品使用促進策による影響を引き続き受けた一方で、2022年6月に腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎への効能追加に関する承認事項一部変更承認を取得した経皮吸収型非ステロイド性疼痛治療剤「ジクトル®テープ」等の売上の増加や、2023年6月に販売を開始した原発性手掌多汗症治療剤「アポハイド®ローション20%」の売上が寄与した影響もあり、前年同四半期比1.9%の増収となりました。なお、「モーラス®テープ20mg」、「モーラス®テープL40mg」の包装袋は、一次包装に医療用医薬品で初めて<sup>\*1</sup>リサイクルPET80%<sup>\*2</sup>を採用した環境に配慮した包装袋として、2023年6月に第47回木下賞「包装技術賞」、同年8月に2023日本パッケージングコンテスト「適正包装賞」を受賞しました。今後も積極的に商品や事業を通じて環境経営を推進し、世界の人々のQOL向上に貢献してまいります。一般用医薬品事業は、新型コロナウイルス感染症に関する行動規制が緩やかになったことに伴う人流の回復や各種イベントの開催に加え、訪日外国人の増加に伴いインバウンド需要が回復傾向にある中で販促活動の強化を行ったことにより、前年同四半期比33.6%の増収となりました。なお、当社は、エスエス製薬株式会社の「エスカップ®」、「ラカルト®」の両ブランドに関連する資産等の一部譲受について、2023年7月に合意及び関連する契約を締結し、10月に資産等の一部譲受を完了しました。今後も、「エスカップ®」、「ラカルト®」の価値最大化を図るとともに、貼付剤にとどまらず、さまざまな商品やサービスを提供し、幅広い事業展開を進めることで、世界の人々のQOL向上に貢献してまいります。

海外市場において、医療用医薬品事業は、米国で後発品の影響を受けたものの、女性ホルモン製剤の需要の高まりや円安の影響もあり、前年同四半期比9.7%の増収となりました。なお、経皮吸収型デキストロアンフェタミン製剤「XELSTRYM®」は、注意欠如・多動性障害の治療薬として2023年6月に米国で販売を開始しています。一般用医薬品事業は、積極的な販売活動により米国やアジアを中心としたその他の地域で売上を伸ばしたことに加え、円安の影響もあり、前年同四半期比19.4%の増収となりました。

※1：当社調べ

※2：石油由来原料を削減するために、石油由来原料の部分を再生樹脂に置き換え、石油由来原料と再生樹脂を混合し、再生樹脂の割合を80%にすることで、CO2の排出量を減らすことが出来る材質

## 〔地域別売上高〕

(単位：百万円)

		2023年2月期 第3四半期実績	2024年2月期 第3四半期実績	増減額	増減率
売上高		91,881	102,827	+10,946	+11.9%
医療用医薬品	日本	40,162	40,907	+745	+1.9%
	海外	11,879	13,034	+1,154	+9.7%
	米国	8,496	8,975	+478	+5.6%
	その他地域	3,382	4,059	+676	+20.0%
一般用医薬品 ・ その他	日本	11,745	15,697	+3,951	+33.6%
	海外	25,796	30,800	+5,004	+19.4%
	米国	12,024	14,237	+2,213	+18.4%
	その他地域	13,772	16,563	+2,791	+20.3%
その他事業	日本	2,297	2,387	+90	+3.9%

## ＜利益＞

営業利益は、122億7千万円(前年同四半期比44.2%増)となりました。その主な要因は、売上の増加に伴い売上総利益が増加したことによるものです。なお、販売費及び一般管理費は、463億3千万円(前年同四半期比4.6%増)となりました。

経常利益は、166億6千1百万円(前年同四半期比28.1%増)となりました。その主な要因は、営業利益の増加によるものです。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、121億1千万円(前年同四半期比27.2%増)となりました。その主な要因は、経常利益の増加によるものです。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表の概要は以下の通りです。

## ＜資産、負債、純資産の状況＞

総資産は、前連結会計年度末と比較して209億9千1百万円増加し、3,349億9百万円となりました。主な増減は、現金及び預金(110億1千3百万円減)、その他流動資産(89億2千3百万円増)及び投資有価証券(67億7千1百万円増)です。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して79億3百万円増加し、634億1千2百万円となりました。主な増減は、その他流動負債(70億5百万円増)です。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して130億8千8百万円増加し、2,714億9千6百万円となりました。主な増減は、利益剰余金(55億3千1百万円増)、自己株式(81億4千5百万円減)、その他有価証券評価差額金(47億6千万円増)及び為替換算調整勘定(106億8千6百万円増)です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の通期連結業績予想につきましては、2023年4月13日に公表しました通期の連結業績予想を修正しています。詳細につきましては、本日別途公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	122,154	111,141
受取手形、売掛金及び契約資産	40,014	42,412
有価証券	14,714	12,771
商品及び製品	10,330	11,834
仕掛品	562	1,031
原材料及び貯蔵品	8,030	8,741
その他	3,629	12,553
貸倒引当金	△261	△303
流動資産合計	199,174	200,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,980	17,213
その他（純額）	29,229	33,811
有形固定資産合計	43,209	51,025
無形固定資産		
販売権	394	358
のれん	—	4,649
その他	551	557
無形固定資産合計	946	5,566
投資その他の資産		
投資有価証券	60,845	67,616
その他	9,948	10,707
貸倒引当金	△207	△188
投資その他の資産合計	70,586	78,136
固定資産合計	114,742	134,728
資産合計	313,917	334,909

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,351	10,052
電子記録債務	6,567	6,315
短期借入金	1,071	1,071
未払法人税等	2,338	2,315
賞与引当金	1,340	678
その他	22,908	29,913
流動負債合計	42,578	50,346
固定負債		
長期借入金	147	95
退職給付に係る負債	8,408	8,587
その他	4,375	4,383
固定負債合計	12,931	13,066
負債合計	55,509	63,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,473	8,473
資本剰余金	2,361	2,361
利益剰余金	235,569	241,100
自己株式	△27,196	△35,341
株主資本合計	219,208	216,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,042	21,802
土地再評価差額金	3,403	3,402
為替換算調整勘定	15,819	26,505
退職給付に係る調整累計額	631	467
その他の包括利益累計額合計	36,896	52,178
新株予約権	260	313
非支配株主持分	2,042	2,410
純資産合計	258,408	271,496
負債純資産合計	313,917	334,909

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)
売上高	91,881	102,827
売上原価	39,100	44,227
売上総利益	52,781	58,600
販売費及び一般管理費	44,274	46,330
営業利益	8,506	12,270
営業外収益		
受取利息	398	1,806
受取配当金	626	705
為替差益	3,210	1,446
持分法による投資利益	—	83
その他	452	431
営業外収益合計	4,687	4,472
営業外費用		
支払利息	12	12
持分法による投資損失	35	—
保険解約損	—	47
操業休止関連費用	95	—
その他	46	21
営業外費用合計	189	80
経常利益	13,003	16,661
特別利益		
固定資産処分益	142	1
特別利益合計	142	1
特別損失		
固定資産処分損	116	3
特別損失合計	116	3
税金等調整前四半期純利益	13,029	16,659
法人税等	3,208	4,179
四半期純利益	9,821	12,480
非支配株主に帰属する四半期純利益	299	370
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,522	12,110



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	9,821	12,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,928	4,644
為替換算調整勘定	18,021	10,795
退職給付に係る調整額	△240	△140
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	92
その他の包括利益合計	20,678	15,391
四半期包括利益	30,499	27,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,104	27,392
非支配株主に係る四半期包括利益	395	479

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、取得株式数2,000,000株、総額10,000百万円を上限として2023年7月14日から2024年2月29日の期間で自己株式の取得を進めています。これにより当第3四半期連結累計期間において自己株式を1,633,400株取得し8,140百万円増加しました。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が35,341百万円となっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

さあ！全力発揮。気になるそこに、手当てのチカラを。



Hisamitsu®

TEAM JAPANオフィシャルパートナー  
(外用鎮痛消炎剤、筋肉疲労ケア製品、医療用サポーター)



久光製薬はTEAM JAPANを応援します。

